

1. 日 時：2023 年 2 月 27 日（月）10:00 ～ 11:10

2. 場 所：WebExによるWeb会議

3. 出席者（敬称略）

委員）中野（信）、莊田、榎菌、相澤、梅木、梅原、大橋、長嶺、中野（佑）

以上 9名

常時参加者）杉野、長谷川、山本、東、前田

以上 5名

4. 配布資料

P11PWG-69-0 議事次第

P11PWG-69-1 第68回PWR水化学管理指針作業会議事録（案）

P11PWG-69-2 人事について

P11PWG-69-3 水化学管理指針改定に係るPWR・BWR間連携について

P11PWG-69-4 指針改定スケジュールP11PWG-68-6-2 同 コメント対応一覧表

5. 議事要旨

(1) 出席者確認

榎菌幹事より出席者の確認があった。全委員10名中9名の出席を確認し、7人以上の定足数を満足していることから、本作業会は成立することが確認された。

(2) 前回議事録確認

榎菌幹事より、資料「P11PWG-69-1 第68回PWR水化学管理指針作業会議事録（案）」について確認があった。作業会終了時点で出席者から特にコメント等は無かったことから、（案）を削除し正式版とすることとした。

(3) 人事について

榎菌幹事より、資料P11PWG-69-2「人事について」に基づき、堂前氏の委員退任と山本氏の委員就任について報告があった。山本氏の委員就任については、出席委員全員からの賛成により承認された。

(4) BWR水化学管理指針作業会との擦り合わせについて

中野主査より、資料P11PWG-69-3「水化学管理指針改定に係るPWR・BWR間連携について」に基づき、今後のスケジュールおよび進め方について説明があった。出席者からの主な意見は以下の通り。

- ・ 現在、進めている分析標準は4件を並行して進めているが、この進め方について、電事連向けには効率化と説明している。指針改定では1次系と2次系を1年ずらして作業を進める工程となっており、電事連向け説明では注意が必要と思われる。
- ・ 議事録作成は、事業者（九州電力を除く）、メーカー、電中研で分担することが提案され、次回作業会から分担することとなった。
- ・ BWR作業会との連携について、基本的には議事録確認やオブザーバ出席で対応し、決議事項のある場合に合同作業会を開催する案が示された。3/3（金）BWR水化学管理指針作業会の予定があり、中野主査より本日の協議結果をBWR水化学管理指針作業会とも共有することとなった。

(5) PWR一次系／二次系水化学管理指針の改定検討スケジュール及び実施体制について

中野主査より、資料P11PWG-69-4「指針改定スケジュール」に基づき、今後の作業会スケジュールについて説明があった。基本的に2～3か月に1回開催し、2024年12月を目標に技術的内容の詳細を固めていく案が提示された。出席者からの主な意見は以下の通り。

- ・ 例年の電事連予算要求は、4/15頃に改定要否確認、6/B頃に予算申請、9/B頃に電事連審議、12月頃に予算確定となる工程であり、本件も同様のスケジュールにあうよう進めていくこととなった。

(5) その他

長嶺委員および前田常時参加者より、分析標準の改定・新規制定に関する進捗状況として以下の報告があった。

- ・ 2/2（木）のシステム安全専門部会において、修正文案が承認され、3/1（水）標準委員会に諮られることとなった。
- ・ 3/1（水）標準委員会において承認されれば、2ヶ月間の公衆審査へ移行する予定である。
- ・ 公衆審査でコメントがあった場合は、6月に予定されている標準委員会で対応方針を説明することとなる。

以上